

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月分）

派遣先大学：ナポリ東洋大学

氏名：加納優

Felice anno nuovo！！あけましておめでとうございます。今月は海外6ヶ国を周り、非常に充実した月になりました。帰国がもうすぐそこまで迫っているので、あと少し全力で駆け抜けたと思います。それでは今月の報告書を始めたいと思います！

【ナポリの年越し】

よくイタリアの友人から、「年越しのナポリは爆竹がうるさい！」、「窓から家具が落ちてくる」という話を聞いていたので、年末年始は家で大人しくしたほうが身のためかなと思ったのですが、怖いもの見たさでカウントダウンのときに外出してみました。すると、まるで戦場で爆撃を受けているのかというくらい、花火と爆撃が連続で飛び交っており、歩くことすら困難でした。花火と言っても日本のような綺麗なものではなく、とにかく音が激しく、窓から花火やガラスが落ちてくることもあり、ナポリで生活した中で史上最大の恐怖を感じました。実際にナポリの年越しを経験できたのは面白かったのですが、予想以上に激しかったので、ちょっとした好奇心で出歩くのは危ないことが分かりました。



煙と爆撃で
まさに
戦争状態！！

ただ、意味もなく爆竹を鳴らしたり物を投げたりしているわけではなく、爆竹など大きな音を出して邪気を払おう、古いものを捨てて新年を迎えよう、という考えからこのような年越しのスタイルが生まれたようです。物を窓から落とそうという発想が斬新すぎて、さすがナポリ人だと感心してしまいました笑

【ナポリの秘密の地下通路】

ナポリの地下に残された地下都市ツアーに行ってきました。旧市街地全体に張り巡らされた地下を巡り、ローマ帝国ができる以前の水道橋や地下倉庫、第二次世界大戦で防空壕として使われていた場所などを見ることができました。古代から近代にかけてナポリの

人々の生活を大きく支えてきた場所として、それぞれの時代の足跡が今でもしっかり残されており、普段生活している街の地下でタイムトラベルのような感覚を味わえたようでとても面白かったです。一時はフィレンツェやヴェネツィアのような落ち着いた雰囲気綺麗なイメージのある北イタリアに住めたら・・・と憧れを抱いたこともありましたが、イタリアの文化は南から北に繁栄していったこともあり、北には残っていない遺跡をナポリをはじめとする南イタリアでは発見することができます。ナポリに住んでいるからこそ見えてくる古い歴史がたくさんあり、ナポリを留学先に選んで良かったと思いました。



狭く暗い通路では、ろうそくを持って進みました！！観光客はイタリア以外の国の人がほとんどでした。

【オランダで偽警官に遭遇】

先日、リトアニアに留学している中嶋さんがナポリに遊びに来てくれました！そのあと一緒にオランダに行ったのですが、そこで偽警察官に捕まりそうになりました。アムステルダムを歩いていたら、オランダ人男性に写真を撮ってくれないかと声をかけられ、少し談笑していたところ、別のオランダ人男性二人が「パスポートを見せろ」といきなりやってきました。最初に声をかけてきた男性は即パスポートを開き、私たちにもパスポートを提示するよう促しましたが、私たちはその時点で怪しいと認識し、持っていないと言い立ち去ろうとしました。しかしその後も「じゃあ財布を見せろ」としつこく問われ続けたので、急いでいるふりをしてそのまま小走りで逃げたのですが、後ろを振り返ると男性三人が一緒に去っていくのが見えました。最初に声をかけてきた男性と偽警官二人はグループで私たちを狙おうとしていたことが分かり、パスポートも財布も奪われずに済んで安堵しました。ヨーロッパは素敵な街で溢れていますが、楽しさの裏側にスリやひったくりの危険性があちこちに潜んでいます。実際私は今回の件合わせて二度スリの危険がある状況に直面しました。こういった状況に陥る度に、気持ちを緩めてはいけないと初心に戻ります。オランダ人男性は平均身長180cm以上あるらしく、大型の男性三人に囲まれたときは恐怖心でいっぱいでした。オランダ以外にも、警察官を装って財布やパスポートを狙うケースは色々な地域で起こるみたいなので、帰国まで警戒心を忘れず無事に帰りたいと思います。



オランダのあとはパリに行きました！！留学が決まる前から、お互いヨーロッパに行けたら一緒にパリディズニーに行こうと約束しており、今回無事その約束を果たすことができました！！

【イタリアのコーヒー】

イタリアというと、ピザ、ジェラートのイメージが強いですが、コーヒー文化もかなり根強いです。イタリアのコーヒー文化はナポリが発祥と言われており、そこから北へ浸透していきました。私たちが普段日本で飲むコーヒーはアメリカ由来のものなので、やはり日本のコーヒーとは違った味がします。基本的に飲まれるのはエスプレッソで、初めて飲んだときは凄く苦くて驚きました。しかし、イタリア人のほとんどはエスプレッソに大量の砂糖を入れて飲むそうです。イタリアはコーヒー文化が強いからこそ、たくさんスターバックスがあるんだろうな〜と心を踊らせていたのですが、驚くことにほとんどありませんでした（ミラノに一軒だけ）。イタリア人は古くからの伝統を重んじ、変化するということを好まないの、他国からのコーヒーを受けつけないようです。たしかにコーヒー以外にも飲食店はほとんどオリジナルのイタリア料理ばかりです。イタリア人の古くからの自国愛が食文化とも絡み合っていることが分かりました。



最初はコーヒー味が苦手でしたが、何度も飲むにつれ美味しさが分かるようになりました！

それでは今月は以上でおしまいです！とうとう来月の報告書でラストを迎えることになります。正直まだまだ帰りたくありませんが、残り僅かな時間を大切に過ごしたいです。今月も読んでいただきありがとうございました。Arrivederci！